

令和4年度(2022年度)阿蘇教育事務所取組の方向

「夢を実現し、未来を創る 熊本の人づくり」の理念に基づき、人権尊重の精神を根底に据え、熊本の未来の創り手となる児童生徒一人一人に必要な資質・能力を育む指導体制の確立を図る。

～ 教師の「情熱」、子供との「信頼」、明確な「方策」を基軸とした「阿蘇の教育」の創造 ～

【重点項目及び努力目標】

- 1 **信頼される学校づくり** **学校と家庭及び地域との相互信頼**
 - (1) 不祥事根絶はもとより、「くまもとの教職員像」に基づいた教職員の基本的資質及び専門性の向上を図るとともに、「働き方改革」を踏まえた学校改革による「チームとしての学校」づくりを基底に据え、保護者及び地域住民から信頼を得る学校づくりに努める。
 - (2) 学校教育目標の実現に向けて五者(学校、子供、家庭、地域、行政)が連携し、学校を核とした地域の特色を生かした教育活動を展開し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するとともに、学校評価等の充実を図り、地域と学校との連携・協働体制をより一層推進する。
- 2 **「確かな学力」の育成** **「熊本の学び」の推進**
 - (1) 各中学校区でのより一層の連携のもと、カリキュラム・マネジメントの推進、学力向上検証改善サイクルの確立及び教育情報化の推進を図る。また、熊本の学び推進プランを踏まえ、子供たち誰一人取り残すことなく最大限の学びを保障するために、「子供たちの学びの側」から学習を構想した授業改善を推進する。
 - (2) グローバル人材の育成に向けて、教員研修の充実及び授業改善を図ることにより、小中連携(義務教育学校含む)による英語教育の一層の充実を図る。
 - (3) 発達段階に応じた読書活動の推進により、主体的な言語活動や探究活動の一層の充実を図る。
 - (4) 幼・保等、小、中の連携をより一層深め、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進する。
 - (5) 社会的・職業的自立の基盤となる資質・能力や態度の育成に向け、教育課程全体を通じたキャリア教育の充実を図る。
- 3 **「豊かな心」の育成** **不登校及びいじめの未然防止・解消**
 - (1) いじめや不登校等の未然防止と解消に向けた心の居場所としての学校・学級づくりと、確かな児童生徒理解に基づく組織的な取組の強化を図るとともに、学校の相談体制の充実を図る。
 - (2) 道徳科の指導方法や評価方法の工夫改善(「考える道徳」、「議論する道徳」への転換)により、道徳科の授業を要とした道徳教育を推進するとともに、家庭や地域と連携した取組の一層の充実を図る。
 - (3) 持続可能な開発のための教育(E S D)を踏まえた環境教育の推進により、環境保全に主体的に行動する実践的な態度や能力の育成を図る。
- 4 **健康教育の推進** **学校総体による体力の向上**
 - (1) 体育、保健体育の授業の一層の充実を図り、学校の教育活動全体を通じて、体力の向上を図る。また、「地域スポーツクラブ」等との連携・協働により、豊かなスポーツライフの実現を目指す。
 - (2) 保健教育や食に関する指導の充実を図り、家庭・地域・関係機関と連携し、心と体の健康づくりを踏まえた健康の保持増進に努め、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の予防対策を実践する。
 - (3) 安全教育の充実を図り、家庭・地域・関係機関との連携を強化し、組織的な危機管理体制を構築する。
 - (4) 学校における防災主任の役割を明確化するとともに、自然災害の発生に備え、学校防災マニュアルに基づき、実践的な避難訓練等を踏まえた危機管理に努める。
- 5 **人権教育・啓発の推進** **五者連携を基軸とした推進**
 - (1) 「熊本県人権教育・啓発基本計画」を踏まえた人権尊重の精神の涵養を図る人権教育を推進するため、教職員一人一人の同和問題(部落差別)をはじめとする様々な人権問題についての基本的認識を深め、実践的指導力を高めるための研修の充実を図る。
 - (2) 児童生徒や地域の実態を踏まえ、指導方法等の工夫改善を図り、人権に関する知的理解と豊かな人権感覚を身に付けた児童生徒の育成に努める。
 - (3) 人権に関する多様な学習機会や学習環境の充実を図り、地域の実情に即した人権教育を推進する。
- 6 **特別支援教育の充実** **インクルーシブ教育システムの構築**
 - (1) 「合理的配慮」に基づき、特別な教育的支援を必要とする子供一人一人の教育的ニーズを本人、保護者、学校、教育委員会と合意形成を図り、自立と社会参加を見据え、切れ目ない支援体制を構築する。
 - (2) 全ての教職員が特別支援教育に関する理解を深め、豊かな人権感覚を持って適切な指導及び必要な支援ができるよう、計画的・組織的な研修により専門性の向上に努める。

生涯学習の推進(ライフステージのデザイン)

生涯にわたって学び合える多様な学習機会の構築に向けた生涯学習振興の基盤づくり(生涯学習の基礎を培う学校教育)を目指し、生涯学習の原点である家庭教育の重要性の周知・啓発を図るとともに、子供たちが社会や自然に積極的に関わろうとする体験活動のより一層の推進を図る。